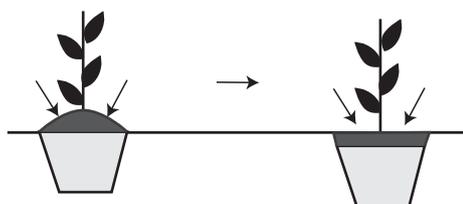


冬野菜のプランター植え付け

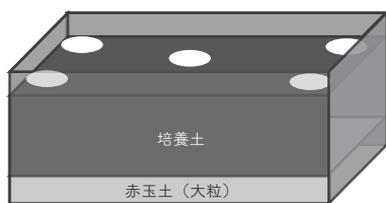
冬野菜の寄せ植えプランターの植え付け（ブロッコリー・セロリ・パセリ・リーフレタス2種）



できるだけ距離を放して植える



プランターに植えられたと苗に認識させたい！



準備するもの：

プランター・鉢底ネット・大玉赤玉土・培養土・バーク堆肥・
ゴム手袋又は軍手・苗

手順とポイント

①プランターの底にネットを敷き、赤玉土（大粒）、培養土を入れる。
水やりをしてかさが減るので、培養土はできるだけ多めに。

★：プランターの底に軽石ではなく赤玉土（大粒）を使うことで、植替えの時に軽石を分類せず、混ぜ込んで土を再利用できる。鉢底に空気を取り込むために軽石や大粒の赤玉土を入れる。

②プランターの真ん中・四隅の5か所にポットと同じくらいの深さの穴をあける。

★：プランターの中でそれぞれの苗ができるだけ大きなスペースがとれるよう、真ん中と四隅に植える。

★：今回の組み合わせでは、ブロッコリーを真ん中、セロリ・パセリ・レタス2種を四隅に植える

③苗を手に取り優しく植え、土を富士山型にかぶせて、軽く引っ張っても抜けにくいくらい強めに土の中に押し込む。

★：気持ち外側に傾ける。苗を見てどちらに傾いているか苗と相談！

★：プランターに植え替えられた！と認識できるように、最後にぎゅっと押し入れて、ポットの中とは違って大きく育てるよ！と苗に教えてあげるのが植え付けのポイント！

④発酵油粕を一握りプランター全体に巻き、バーク堆肥を使いマルチングする。厚さ3cmくらいが目安。

★：保湿効果がある（農家さんが藁でやるのと同じ）。断熱効果もアリ。

育てるときには

★3週間に1度水やり・追肥・マルチングを！

★ブロッコリーは2, 3週間後に茎が太くなってきたら、真直ぐに育つよう支えを設置。葉の裏に虫がいることが多いので取り除く。

★セロリは外葉から収穫。繊維質なので細かく切りスープなどに。収穫が遅れると黄色くなる。こまめに収穫して隣に干渉させない！

★サニーレタスも外葉から収穫、4枚ほど残せばOK。育てながら収穫すると病気に強くなる。11月中まで収穫可能！



さつまいもつる返し・にんじんの種まき



つるをパタンと畝の上に返す



脇に伸びたつるを畝の上に載せる



かまぼこ状の畝にしっかりと播き畝をつくって



にんじんの種はとても小さい
1cm1粒を目安に指でパラパラと播く

さつまいものつる返し

伸びたつるが土に接しているとそこから根が出て小さな芋になってしまいます。芋が増えると一つ当たりの芋が小さくなってしまいますので、つる返しをし、余計な芋ができるのを防ぎます！

①脇に伸びたつるを畝の上に載せるだけ!!!

★:葉を下にして、素直にパタンと反転させる。ねじって葉を上に向けないように!つるを痛めてしまう。2,3日後に自然と葉が上を向くのを待つ。

★:さつまいもには他感作用があり、周囲に雑草が生えにくくなる。

畑の準備

道具:スコップ

①鍬で耕す。スコップを半分土に差し込んでひっくり返す。

②畝を作る。日光が当たりやすいよう南北方向に!

この時畝のダマをスコップでつついてほぐす。水はけをよくするためにかまぼこ状に土を盛る。表面の雑草は取る。

★:ダマに根が当たると根菜類は曲がってしまう。

③硬めに播き畝をつくる。土同士を密着させて、水分を保持できるように!

★:土同士が密着していると、土表面が乾いてしまっても毛細管現象で地下から供給される。

★:土がふわふわだと乾きやすいので、毎日水やりをしないといけない

にんじんの種まき

①筋播きする。1cm1粒を目安に、均等に種を播き畝にまく。

②指で土を浅めにかぶせて、ぎゅっと押さえる。

★:固めた播き畝の土を一体化させるように、強めに!

③水をさっとかける。

★:土と種の間に入水が入って密着する

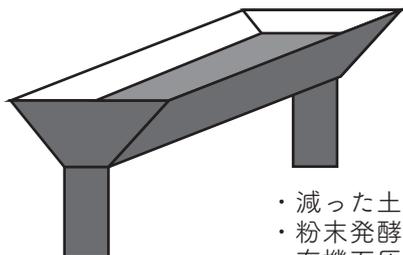
プランター土のリフレッシュ



発酵油粕・牡蠣殻石灰・ミリオンを加えたレイズドベッドにバーク堆肥を入れる



底の土まで空気に触れるようにしっかりと混ぜて！



- ・減った土と同量のバーク堆肥
- ・粉末発酵堆肥
- ・有機石灰
- ・(ミリオン：珪酸塩白土)を加え混ぜる

準備するもの

使っていた土・バーク堆肥・粉末発酵油かす・有機石灰（牡蠣殻石灰）・ミリオン（ケイ酸塩白土）

手順とポイント

①発酵油かす・牡蠣殻石灰・ミリオンを粉雪が降った程度の少量入れる

②バーク堆肥を土が減った分入れて混ぜ合わせる

★：堆肥を入れると土が柔らかくなるが、空隙が増えて乾きやすくもなるので良い塩梅を探す。土を湿らせて握って離れたときにポロポロ溢れるくらいがベスト！堆肥が多いとボソボソし、少ないと団子になる

★：土を混ぜるときに下まで空気を通してあげる。この時しか下の土は空気に触れないので貴重なチャンス！

それぞれの特徴と役割

●バーク堆肥：樹皮を発酵させたもの。土を使ってやせた分加える。発酵油かすの栄養が溶け出ていかないようにする役割もある。

●粉末発酵油かす：肥料として加えている。

野菜は短期決戦！有機肥料のなかでもすぐに効果の出る発酵油かす、分解されやすい粉状が◎。

●有機石灰：植物を植えて酸性になった土を弱アルカリ性に戻す役割。有機石灰（牡蠣殻石灰など）なら、寝かせずすぐに土を使える。

●ミリオン（ケイ酸塩白土）：調整役として。連作障害を防ぐことにも！必須ではなく少し高価なので、可能な場合はプラスアルファでいれるとよい。

★土は何度でも再生・再利用できる

★水やりを行う過程で土のかさが減るので、新しく植えるときにプランターに多めに土が入っているようにする

冬野菜のレイズドベッド植え付け



①



②



③



④⑤



苗を植え付けた後に油かすを苗から少し離してまく



バーク堆肥を被せてマルチング

手順とポイント

- ①肥料を入れる穴をレイズドベッドの真ん中にあける
- ②肥料(男性は3掴み・女性は4掴み程度、発酵油かす:バーク堆肥=1:1)にプランターの土を少量混ぜる(微生物を馴染ませるため)
 - ★: 堆肥のダマは混ぜるときにつぶす
- ③穴に肥料を入れ、軽く土を被せる
 - ★: キャベツや白菜は肥料を多く必要とするので男性3掴み・女性4掴み程入れる
- ④苗を植える穴をあけ、水をたっぷり(下から水が流れ出るほど)注ぐ
- ⑤苗を植えて(※植え方はP.1 プランター植え付けを参照)、外側から水をかける。このときに下の芽が土に埋まっているか確認する。埋まっていたら掘り出す。
 - ★: 苗がしなっとしていても、10日ほどでシャキンとして大きくなる

各野菜のポイント

白菜

今回は65日で収穫できる早生の品種を使う。他にも遅くて大きくなる品種もあるが、家庭菜園は早生の方がいい。白菜は外葉を大きくする必要があるので、端は壁面に付けてできるだけ距離を取る。

キャベツ・カリフラワー

白菜より広々とスペースを取る(今回白菜は10株、キャベツは8株)

セロリ・レタス

今回は密度が高いので肥料は後で上からやる(プランターと同じ考え方)

油かすを苗から少し離してまき、バーク堆肥を被せる(油かす、米ぬか、粉殻、バーク堆肥を混ぜて袋に入れて1、2ヶ月日陰に置いておくと発酵油かすになる。)

3週間に1回、発酵油かすとバーク堆肥をまく必要がある(収穫している間はずっと)

収穫は外葉からちぎる

玉ねぎ・にんにくの地植え



子球は半分だけ埋めて、上から土は被せない

ホームたまねぎ

- ①牡蠣殻石灰をまいて軽く土と混ぜる
- ②15cm間隔で子球を半分埋める
- ★: 上下に気を付けて! 根がある方が下。
- ③水を全体がしっとりするまでまく
- ★: 玉ねぎは上から土を被せない!
- ★種からの育て方:
- 4月 種まき
- 6月 玉ねぎを回収(これが子球になる)
- 9月 植え付け(今回と同じ)

にんにく

- ①牡蠣殻石灰をまいて軽く土と混ぜる
- ②にんにく1片を10cmほどの深さに埋める。15cm間隔で埋めていく。
- ③土を上から被せる。



水はたっぷりめにまく



にんにくは10cmほどの深さに入れた後、上から土を被せる